

※記載例を参照の上、ご記入ください。




(様式第3号)

企業・団体名(株式会社トラスト)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・月次全体MTおよび月次リカレントで年に1回以上周知している。 相談室を設置し、企業風土として相談しやすい環境を整えている。 ・国籍、出身の違いによる賃金の違いなど、左記の差別はないことを確認している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・性別や年齢等による差別が発生しないよう、定期的に全体ミーティングで周知・教育している。 ・各人がお互いに注意する社内環境にある。 ハラスメント相談室を設置を検討する。⇒相談先は設定。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・総務による管理のほか、各店長などによる7日ごとの残業時間確認、残業届の提出ルールにより、社内全体の残業削減に取り組んでいる。 過度な長時間労働にならないよう勤怠管理し、超過の目立つ社員には上長による面談を実施している。 ・施工部では原則として残業はしないこととしている。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・賃金・労働時間・作業内容・社内環境・言動などにおいて人権侵害がない体制を構築している。 ・外国人でも平等な処遇を受けており、国籍、出身の違いによる差別は存在しないことを確認している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・KY(危険予知)、5S活動を実施しており、現場では作業前に安全確認を実施するなど徹底を図っている。 ・定期的に健康診断を実施し、従業員の労働安全衛生につなげている。 ・行動指針に安全に関する事項を明示している。 定期的にミーティングを行い、ヒヤリハット事例の共有を行う。 安全大会を開催する。(年1回)			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・委員会活動のほか、相談室を設置している。 ・上司は定期的に従業員と面談を実施し、従業員も相互に注意合っている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・女性の積極的な採用や技能実習生制度の活用など、ダイバーシティ経営を意識している。 ・育児休暇は就業規則に定め、男性従業員にも育児休暇取得を推奨している(直近取得率100%)。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							

8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・人材育成のため、資格取得にあたってはその費用を補助し、取得後はこれに応じた手当支給の対象とするなど社員の資格取得を奨励している。 ・新入社員採用時の全員を対象にした教育制度を設けている。 ・多様な教育機会確保のため、社外研修を積極的に活用している。			4	5.5		8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・同一労働同一賃金等の原則を賃金規程に定めている。				5.5		8.5	10.2 10.3								
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・社屋や店舗の温度湿度管理のほか、換気・除菌実施など労働環境へ配慮している。 ・毎年、全員を対象に健康診断を行っている。 【予定】禁煙・減塩食・サキベジなどの健康活動への取り組みを検討する。ACEキャンペー参加しているのです			3			8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・適切に仕分け、産業廃棄物処分業者と適切な契約を行いマニフェストに沿った処分を行っている。 【予定】材料の廃棄などを減らすため、削減目標設定を検討する。							11.6	12.4		14.1					
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・エネルギー使用量は把握している。 【予定】温室効果ガス排出量は、今後把握を検討する					7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・温室効果ガスの排出量は把握していないが、社屋の温度管理、ガソリン消費の抑制には取り組んでいる。					7.2 7.3			12.4	13.3						
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・MSDS他を確認し、有害物質の含まれている材料に関しては適切に使用を行っている。 ・在庫を減らす方法を常時検討している。			3.9	6.3			11.6	12.4							

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・工事現場で発生した廃液などはむやみに投棄せず、環境関連法令に従い、適切に処分している。						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・ムダな材料の廃棄などを減らし(リデュース)、軍手の再利用(リユース)に取り組んでいる。 ・古紙および鉄はリサイクルしている。												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・高圧洗浄時の水の無駄(流しっぱなし)を減らす。 ・社屋の利用状況は総務で把握している。						6.4 6.6											
18 環 境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	【予定】長野県SDGs推進企業登録制度に対応し今後開示予定。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	【予定】今後取り組みを検討する。							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ															12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・社内のコンプライアンス意識向上のため、月次全体MTで年に1回以上周知している。 ・金銭の授受を担当する者には特に必要性を周知している。															16 16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・社内のコンプライアンス意識向上のため、月次全体MTで年に1回以上周知している。																16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・webへの資料の転載などに注意するよう社内に周知している。また、自社の社名、キャラクターについては商標登録している。								8.2 8.3	9								
25 公 正 な 事 業 慣 行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・プライバシーポリシーを掲げ、社内にも周知している。 ・個人情報の閲覧が可能な社員を限定するなどアクセス権限等を設けている。																16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・取り扱いなし。																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・パートナーズミーティングを通し事業パートナーと対等な立場を維持できるよう努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3					8	9	10							17

[illegible]

39	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・詳細化したお客様へのアンケート実施、ヒアリング、パートナー企業との対話を行っている。														16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・長野県SDGs推進企業登録を契機に、役員で対応している。														16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・クレドブックにより企業の使命を確認できている。 ・地域社会への貢献を意識している。														16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	事故報告書の運用 【予定】チャート活用その他、常に社会状況・情勢に合わせた計画策定を検討する。							9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ		【予定】	【予定】社長要件の設定や育成を検討していく							8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
・ リフォーム・再利用による持続可能な資源活用		・ リフォーム関連の受注推進																	

【記載留意事項】

・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・ 【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定